

# 井上ひさし名誉館長を偲んで

## 故井上名誉館長の一周忌

月日の流れるのは早いもので、井上名誉館長が昨年四月に亡くなられて一年になります。記念館での講座も十七回に及びました。時事問題を、批判精神とユーモアで解説し、会場を笑いと熱気で包んで下さったことがつい昨日のように懐かしく思い出されます。



記念館では昨年四月から井上先生を偲ぶ特別展示コーナーを設け、皆様からのご記録や、思い出ノートへの記録も賜りました。

## 吉野の後輩だからと名誉館長を受諾

多くの人々の努力が実り、待ちにまつた「吉野作造記念館」が開館したのは一九九五年（平成七年）でした。開館日は吉野の誕生日の一月二十九日。民本主義を唱え、今日の民主主義のさきがけを示し

た、郷土の偉人吉野の教えを語り伝える拠点ができたのです。

その三年後に名誉館長として話題に上ったのが、「ひよっこりひよったん島」などを作つた放送劇作家で、小説家でもあり、日本ペンクラブ会長を歴任した井上ひさし先生でした。当時の古川市長と会って決定したのが一九九八年。先生は吉野に強い関心を持っていました。



「吉野作造は、私の母校であり仙台一高の前身でもある宮城県尋常中学校の先輩です。だからことあるごとに、こんな場合、吉野はどう考えるだろうということに気にかけて生きてきました。これからは一

緒に吉野博士の勉強をしよう。そして年に一回発表していきます。」と下さり、ほぼその通りに実行されました。（二〇〇八年は講演当日の六月十四日に岩手・宮城内陸地震が起き、中止のハプニングなどもありました。）

一九九八年十二月の第一回講座から、二〇〇九年四月の第十七回講座まで、井上先生のわかりやすい民本主義の解説は会場の人達の胸に、多くの教訓を刻み込んでくださいました。

## 兄おとうとの古川公演

吉野作造と弟の吉野信次の物語「兄おとうと」は、井上先生の劇団「こまつ座」公演で大好評でした。大正デモクラシーの旗手である作造と、国務大臣の信次の立場や意見の違いは、政治哲学と倫理の見事な対比を描きます。その二人の妻も姉妹という関係であり、「これほど面白い兄弟はいない」と先生に言わ



せた劇です。二〇〇六年の全国公演では三月十三日に、雪の降り積もる古川市民会館で公演が実現します。貧しさゆえの盗みに至る庶民の「なぜ」に応えようとする吉野の熱意や、価値観の違いで疎遠になる兄弟を、箱根の旅館で仲直りさせる二人の賢夫人の策略など、たくさん感動を私たちに与えてくれました。

## ありがとうございます

先生は深い立脚点から吉野の考えを理解し、民衆の力を真に発揮できる議会と憲法の在り方を説き続けて下さいました。ご講演と珠玉の著作集を学び直し、新たな視点でデモクラシーを語り伝えていくことを誓い、感謝の意にかえさせていたいただきます。

## 出前講座がスタートしました

学校教育と連携し、これまでは中学校の招館事業をやってまいりました。平成22年度後半からは、学校の授業に出向く「出前講座」がスタートしました。中学校や高校の授業に活用してみませんか。30分程度のスライド映写で、吉野の生い立ちと業績、時代背景などをわかりやすく説明いたします。

